

報告書の趣旨

愛知県がん対策推進条例（以下、「条例」という。）は、2012年10月、がん対策に関する県の責務等を明らかにするとともに、がんの予防及び早期発見の推進、がん医療の充実その他のがん対策に関する施策の基本となる事項を定めることにより、がん対策に関する施策を総合的かつ計画的に推進することなどを目的として制定されました。

同条例第16条第2項では、「県は、毎年、がん対策に関する施策の実施状況に関する報告書を作成し、これを公表するものとする。」と定めており、この規定に基づき、2021年度のがん対策に関する施策の実施状況を取りまとめました。

なお、愛知県のがん対策は、愛知県がん対策推進計画に基づき実施しており、2021年度は、第3期愛知県がん対策推進計画（2018年3月作成）の4年目になります。

I がん対策に関する施策実施状況の概要

1 がんの予防・がん検診による早期発見の推進

(1) がん検診普及啓発

市町村、企業等と連携し、「がん検診受診促進キャンペーン月間（10月）」を中心にポスターを配布する等、広くがんの予防やがん検診の普及啓発を実施しました。

① ピンクリボン街頭啓発キャンペーン

例年企業と共催で実施していた街頭キャンペーンは、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、2021年度は未実施。

② がん対策推進連携企業や鉄道会社における啓発ポスターの作成・掲示

がん検診受診率 50%達成に向けた集中キャンペーン月間（10月）に合わせて、キャンペーン月間の周知用ポスターを作成し、掲示して周知を行った。

作成部数：1,350部

配布先：連携企業（ユニー、スギヤマ薬品等）店舗、鉄道会社、スポーツ協会、市町村 等

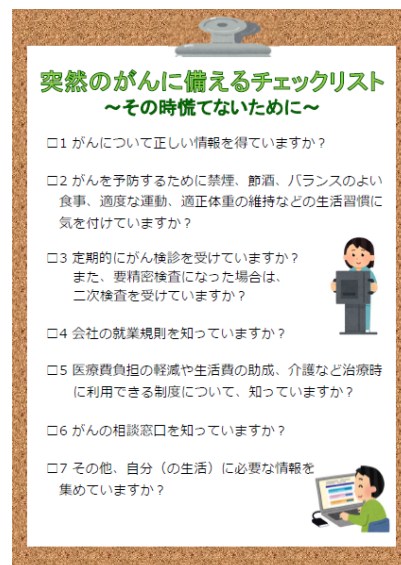
③ 突然のがんに備えるチェックリストの作成

普段からがん罹患のリスクに備えていただく目的で「突然のがんに備えるチェックリスト」を作成し、市町村に住民の方への周知を依頼するとともに、県のホームページに掲載して周知を行った。

キャンペーン月間ポスター



突然のがんに備えるチェックリスト



(2) がん検診の精度管理の向上

① がん検診従事者講習事業

がん検診の精度向上のため、各種がん検診に従事する者の資質向上を目的とした講習会を開催しました。また、2016年度から胃内視鏡検査が国のがん検診の指針に追加されていることから、がん検診の胃内視鏡検査に従事する医師に対する研修を開催しました。

ア 各種がん検診従事者講習会の開催

大腸がん検診従事者講習会、胃がん検診従事者講習会、乳がん検診従事者講習会、細胞診従事者講習会に係る従事者講習会をオンラインで開催しました。

期間：2022年2月15日（火）～3月7日（月）（YouTubeにて配信）

- ・大腸がん検診従事者講習会（参加者（YouTube視聴回数） 215名）

「大腸がん検診と便潜血検査について」

- ・胃がん検診従事者講習会（参加者（YouTube視聴回数） 230名）

「胃がん検診の精度管理について」

- ・乳がん検診従事者講習会（参加者（YouTube視聴回数） 184名）

「マンモグラフィ検診開始後20年ーなぜ乳癌死亡は減らないのかー」

- ・細胞診従事者講習会（参加者（YouTube視聴回数） 150名）

「～HPV併用検診・喀痰細胞診を考える～」

イ 胃内視鏡検診従事者研修会の開催

開催日：2022年1月31日（月）～2月13日（日）（YouTubeにて配信）

参加者：116名（YouTube視聴回数）

対象者：愛知県内市町村における胃がん検診の胃内視鏡検査に携わる医師等

内容：胃内視鏡検査の実施にあたり適切な体制を構築するため、胃内視鏡検査を実施するための留意点や偶発性対策に係る研修会を実施。また、先進市である金沢市の取組も講義。

② がん検診精度管理委員会の開催

前年度の市町村がん検診の実施結果やプロセス指標改善のための取組状況等を調査・集計し、それを基に専門家で構成する委員会の意見を聴取の上、市町村への統計情報の提供や技術的助言を実施しました。

（乳がん検診精度管理委員会、胃がん・大腸がん検診精度管理委員会、肺がん検診精度管理委員会、子宮がん検診精度管理委員会を各1回開催）

2 県内どこに住んでいても病状に応じた適切ながん治療や緩和ケアを受けられるがん対策の推進

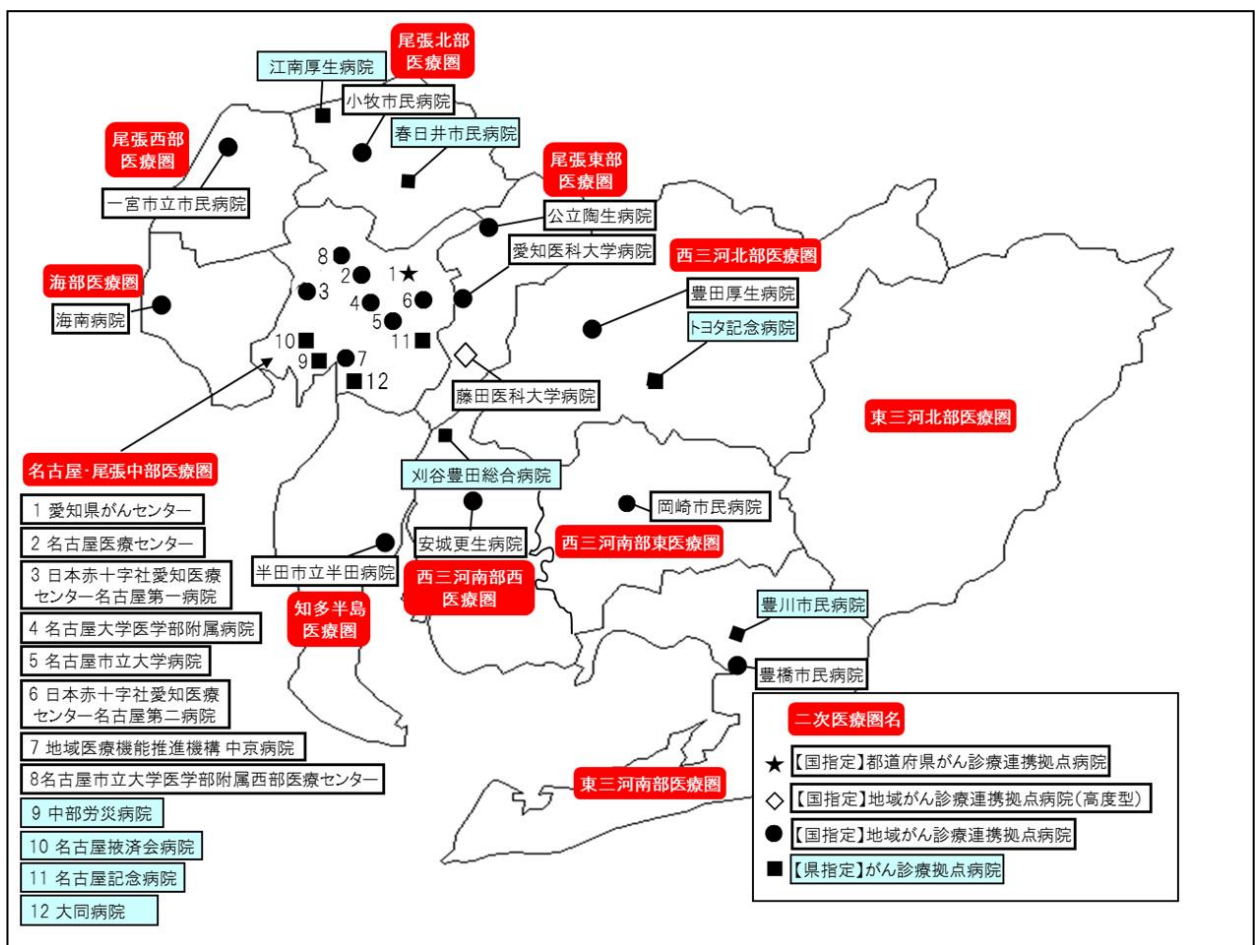
(1) がん治療の推進

① がん診療連携拠点病院等の指定

愛知県では、国が指定する「がん診療連携拠点病院」と県が指定する「がん診療拠点病院」を中心に地域におけるがん医療水準の向上とがん診療連携の強化を図っています。

2022年4月1日現在 がん診療連携拠点病院（国指定）19病院
がん診療拠点病院（県指定）9病院

【愛知県内のがん診療連携拠点病院・がん診療拠点病院（2022年4月1日現在）】



拠点病院が有すべき機能、各病院の診療実績及び県計画の目標の達成状況については、国指定の拠点病院は2015年度から、県指定の拠点病院は2016年度から毎年ホームページに掲載しています。

【掲載した情報】

- ・ 拠点病院の主な指定要件（診療機能、医療施設、人員配置等）に関する説明

- ・がん診療連携拠点病院の診療実績（院内がん登録、手術、放射線治療、薬物療法等の実績）
- ・愛知県がん対策推進計画において目標数値としている診療報酬に係る施設基準（緩和ケア診療加算等）、医療従事者の配置（がん薬物療法専門医）等の達成状況

② がん診療連携拠点病院等の取組

都道府県がん診療連携拠点病院である愛知県がんセンターにおいて愛知県がん診療連携協議会を開催する等、様々な取組を行っています。

③ がん診療連携拠点病院に対する補助事業

がん診療連携拠点病院に対する補助事業を実施し、がん相談支援事業や医療従事者に対する研修などの取組を促進しました。

【がん診療連携拠点病院等が実施する緩和ケア研修会の実績】

実施病院数：27 病院（開催回数：37 回）

受講者：628 名

3 子どもから高齢者までライフステージに応じたがん対策の推進

（1） がん教育の充実支援のための取組

① がん教育総合支援事業の実施

がんについて正しく理解し、健康と命の大切さについて主体的に考えることができる子どもの育成を目的に、本県のがん教育のあり方や地域支援体制の検討、外部講師の活用を図るため、協議会の開催や研修会、外部講師派遣事業を実施しました。

② がん教育外部講師リストの作成

がんに関する科学的根拠に基づいた知識などの専門的な内容を含むがん教育を進めるに当たっては、外部講師の活用が重要とされていることから、がん診療連携拠点病院及び愛知県がん診療拠点病院の協力の下、2022 年度用がん教育外部講師リストを作成し愛知県教育委員会及び名古屋市健康福祉局に提供しました。

③ 中学生向け「がん教育リーフレット」の県ホームページへの掲載

中学校の保健体育の教科学習等において活用していただく目的で作成した「がん教育リーフレット」及び教員向けの指導参考用解説書を県のホームページへ掲載し、周知しました。

(2) 小児がん対策

病気療養児の教育に携わる教員や医療者等が、日頃の支援の中で困っていることやわからないことについて、研修会にて意見交換や情報交換を実施しました。

(3) AYA世代のがん対策

① 妊よう性温存治療費助成事業

将来自分の子どもを産み育てることを望むがん患者等に、精子や卵子等の採取・凍結保存を行うのにかかる費用を助成しました。

【助成件数】

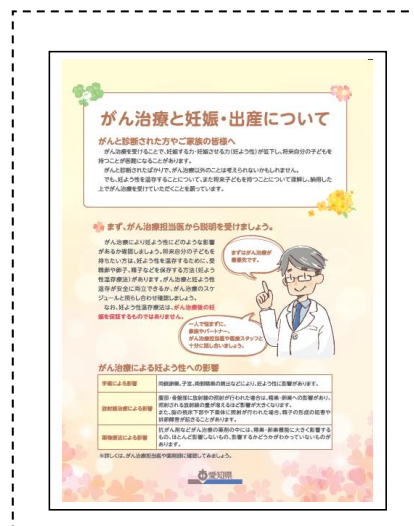
胚（受精卵）凍結	24件	精子凍結	32件
未受精卵凍結	20件	精巣内精子採取術による精子凍結	0件
卵巣組織凍結	4件		

② 愛知県がん・生殖医療ネットワーク等によるセミナーの開催

「愛知県がん・生殖医療ネットワーク」(SOFIA)において、妊よう性温存治療費助成事業や、小児・若年世代のがん治療と妊孕性、乳腺専門クリニックでの妊孕性温存への取り組みなどを学ぶ医療者向けセミナーを実施しました。

③ 妊よう性温存についてのリーフレット作成

将来子どもを持つことを望むAYA（思春期・若年成人）世代のがん患者が、がん治療の影響や妊よう性を温存するための方法について理解し納得した上でがん治療を受けていただけるようリーフレットを作成しました。



(4) 女性に特有のがんに係るがん対策

「女性特有のがん対策専門会議（2013年度開催）」による提言を踏まえ、検診の受診推奨開始年齢の女性が多く所属する団体と連携した講演会の開催による啓発活動や、女性が検診等を受診しやすい環境づくりのための医療機関に関する情報提供を実施しました。

① 大学等と連携した子宮頸がんに関する講演会の開催

開催大学：中部大学

開催日：令和3年11月10日（水）

参加者：中部大学保健看護学科2年生及び教職員等 102名

開催大学：愛知教育大学

開催日：令和3年12月8日（水）

参加者：愛知教育大学の学生及び教職員 38名

② P T A会員や女子学生等を対象に乳がん・子宮頸がん検診の啓発リーフレットや女性が活用しやすい啓発資材としてあぶらとり紙を配布

③ 受診の際に参考となる医療機関の情報や女性特有のがんに関する情報を県ホームページに掲載

掲載機関数（2021年6月現在）：212

④ 県ホームページ掲載医療機関に乳がん・子宮頸がん検診の啓発リーフレットを配布し、活用を依頼

(5) 働く世代のがん対策

「がん患者就労継続支援・がん検診促進検討会議（2013～2014年度開催）」による提言（2015年3月）を踏まえ、働く世代のがん検診受診率向上やがんに罹っても働きながら治療を続けられる環境づくりに向けた啓発活動を実施しました。

① 働く世代のがん対策講演会の開催

講演会の開催を希望する企業がなかったため、2021年度は未実施。

② 「あいち地域治療と仕事の両立支援推進チーム会議」の参画

地域の実情に応じた治療と仕事の両立支援のための取組の促進が図られるよう、地域の関係機関及び関係者により構成された「あいち地域治療と仕事の両立支援推進チーム会議」に参画し、連携を図りました。

チーム構成：愛知県医師会、愛知県経営者協会、日本労働組合総連合会愛知県連合会、愛知県社会保険労務士会、全国健康保険協会愛知支部、愛知産業保健総合支援センター、愛知県（労働局、保健医療局）、名古屋市等

事務局：愛知労働局労働基準部健康課

③ 事業所向け両立支援セミナーの開催

主に中小企業の経営者、人事労務担当者を対象に、治療と仕事の両立について理解を深め、普及啓発を図るためのセミナーを開催しました。

【治療と仕事の両立支援セミナー】

開催日：令和3年10月21日（木）（名古屋会場）

令和3年11月25日（木）（刈谷会場）

令和3年12月21日（火）～令和4年1月21日（金）（オンデマンド配信）

申込者：43名（名古屋会場）、46名（刈谷会場）、200名（オンデマンド配信）

内 容：治療と仕事の両立支援をテーマとした専門家による基調講演及び企業の取組実例紹介。リーフレット「がん検診のススメ」の配布。

4 みんなで支え合い、がんになってもがん患者や家族が安心して暮らせる社会の実現

（1）がん患者・家族に対する相談支援

① ピア・サポーター養成事業

ピア・サポート活動を周知するための講演会と、活動に必要な知識や対話技術を学ぶ「ピア・サポーター養成研修」を患者団体に委託して開催しました。

ア 講演会

開催日：令和3年11月27日（土）（12月1日から22日までYouTubeで配信）

参加者：会場51名（YouTube視聴回数 313名）

内 容：がん体験者であり緩和ケア医師でもある講演者が、がんとの向きあい方について講演。がん体験者による体験談、ピア・サポート活動の紹介など

イ 研修会（計4回、オンライン開催）

開催日：2022年1月22日（土）、2月5日（土）、2月19日（土）、3月5日（土）

修了者：20名

内 容：がん医療の基礎知識、がんのピア・サポートとは、ピア・サポートのルールとマナー、対応技法（積極傾聴・応酬話法）、模擬相談 等

② がん患者・家族に関する電話相談

がん治療経験者によるがん患者・家族の悩みや疑問に対する電話相談を患者支援団体に委託して実施しました。

ア 電話相談事業

市町村に広報掲載を依頼する等、県民に事業を広く周知

実施日数：120日

利用者数：390名（前年度：利用実績325名）

(2) がん患者・家族に対する情報提供

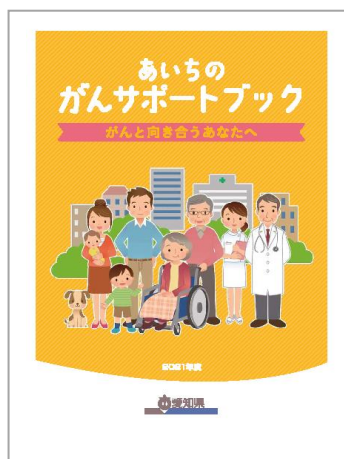
「がん相談支援センター」を始めとする様々な相談窓口や医療費等の制度をまとめた「がん患者サポートブック」と、がんに関する様々な情報に行き着くための入り口となる「お役立ちシート」を作成し、県内の医療機関や関係団体を通じてがん患者・家族に配布しました。

① あいちのがんサポートブック

作成部数：10,000部

② お役立ちシート

作成部数：5,800部



③ がん関連イベント情報の県ホームページへの掲載

がん患者支援団体等が実施するイベントについて、県の後援名義を受けたもので申請者から希望がある場合についてはホームページに掲載し、情報提供しました。

(3) がん罹患状況等の把握・分析

がん登録等の推進に関する法律（2013年法第111号）に基づき、がんの診断・治療に関する情報を医療機関から収集することで県民のがん罹患状況を把握し、がん対策やがん研究の基礎資料とするとともに、集計結果を医療機関や県民に情報提供しました。

① 愛知県悪性新生物患者登録事業（全国がん登録事業）

医療機関から提出された届出情報について全国がん登録システムを用い審査・突合・整理を行いました。

また、2018年分のがん罹患データを集計し結果を冊子「愛知県のがん統計」にまとめ関係機関に配布するとともに、インターネットで公表しました。2018年に愛知県在住で新たにがんと診断された数は49,497件（延べ件数：男性28,690件、女性20,807件）となりました。

② 愛知県がん登録情報利用等審議会の開催

全国がん登録情報の利用申請があり、情報提供の可否について審議するため愛知県がん登録情報利用等審議会を開催しました。

第1回

開催日：2021年7月6日（火）

申請数：2件

結果：2件とも情報提供可

第2回（書面開催）

開催日：2021年10月15日（金）から11月1日（月）まで

申請数：1件

結果：情報提供可

第3回

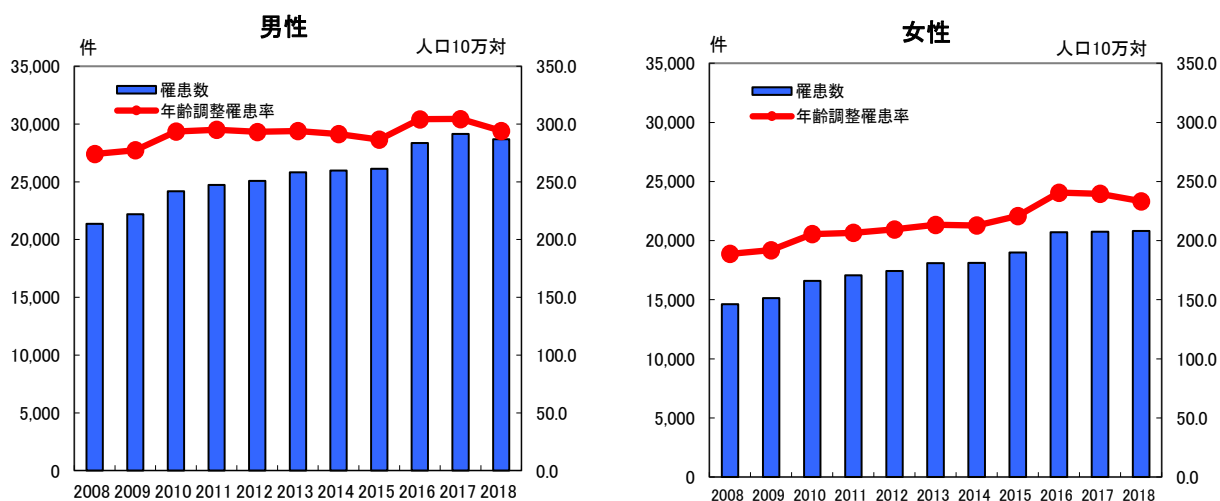
開催日：2022年3月10日（木）

申請数：2件

結果：2件とも情報提供可

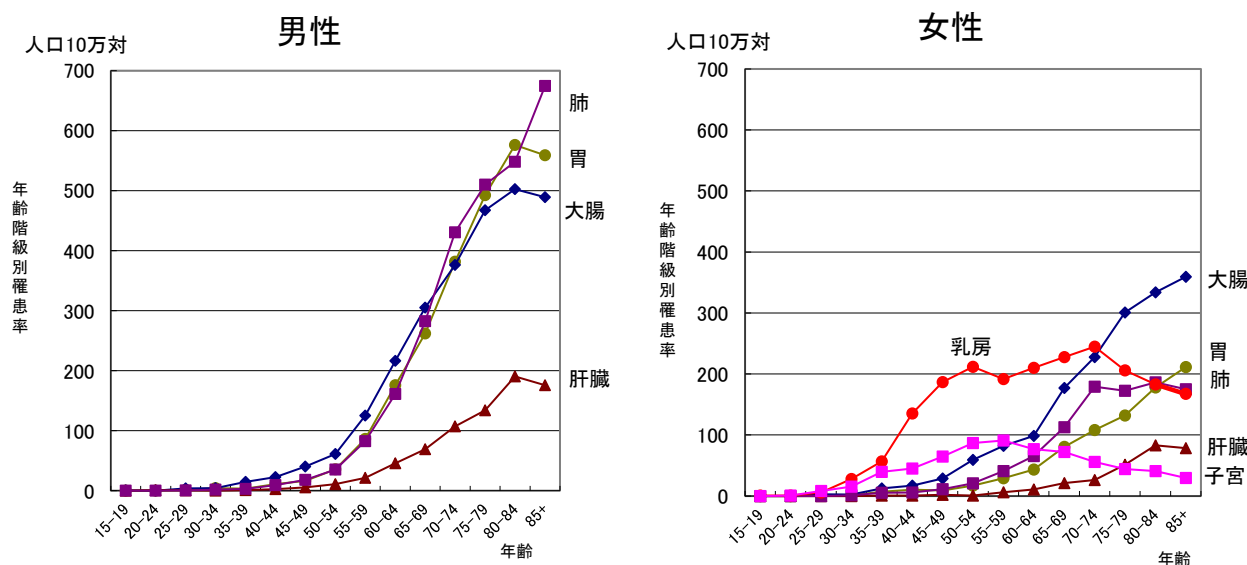
■がん罹患数・罹患率の推移（2008年から2018年）

がん罹患数は、増加傾向にありましたが、増加傾向が鈍化し、ここ数年ほぼ横ばいとなっています。2016年は前年度の一割増しになっています。これは2016年に、がん登録が地域がん登録から全国がん登録に切り替わり、病院に届出義務が課されたため届出数が増加し、罹患数が上昇したことが要因と考えられます。



■部位別・年齢階級別罹患率（人口10万対2018年罹患分）

年齢階級別に罹患率を見ると、男性では55歳以上でがんの罹患率が急増しており、大腸がんが35-69歳の各年齢階級で罹患率が高く、70歳以上では肺がんが高くなっています。女性では乳がんが30-74歳の各年齢階級で部位別罹患率の第1位となっており、75歳以上では大腸がんが第1位となっています。



II がん対策に関する施策の実施状況に係る進行管理について

本県では、関係団体並びに有識者等によって構成される「愛知県健康づくり推進協議会がん対策部会」を開催し、法律に基づき策定した「愛知県がん対策推進計画」の目標達成状況や取組状況等を適宜報告し、評価することにより、計画の進行管理を行うこととしています。

下記のとおり同部会を開催し、県当局から 2021 年度の目標達成状況、施策実施状況及び今後の取組の方向性案について報告し、ご意見をいただきました。

- 開催日
2022 年 1 月 31 日（月）午前 10 時から正午
- 構成員

所属・職名	氏名
名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野 教授	明智 龍男
名古屋大学医学部附属病院化学療法部 教授	安藤 雄一
愛知県がんセンター病院 副院長兼乳腺科部長	岩田 広治
愛知県中小企業団体中央会 中小企業支援部長	牛丸 穰
がん治療体験者	加藤 那津
公益社団法人愛知県医師会 理事	河村 英徳
豊川市子ども健康部 保健センター所長	小久保 信之
武豊町健康福祉部 健康課長	近藤 昭子
一般社団法人愛知県歯科医師会 副会長	梶村 豊彦
愛知県がんセンター 総長	高橋 隆
名古屋大学大学院医学系研究科小児科学 教授	高橋 義行
愛知県小中学校長会 保健体育委員長	田中 雅也
愛知県がんセンター病院 院長	丹羽 康正
NPO 法人ミーネット 理事長	花井 美紀
藤田医科大学医学部放射線腫瘍科 教授	林 真也
愛知県がんセンター病院 副院長兼看護部長	林 美子
愛知県がんセンター研究所 がん予防研究分野長	松尾 恵太郎
衣浦東部保健所長	丸山 晋二